

大成ロテック

舗装初のマイスター職長

報奨金年20万円 来月認定

大成ロテックは、協力会社の優秀な職長を認定し、報奨金を支給する「大成ロテックマイスター職長制度」を創設した。施工現場に優れた職長を確保することやモチベーション向上による技能者不足の解消などが狙いで、道路舗装業界では初という。報奨金は年間最大20万円で、11月1日から運用を始め、同月中旬にはマイスター職長を認定する。協力会社の施工会社約200社が対象で、初回は全国で約30人の認定を予定している。



ヘルメット貼付用ステッカー

マイスター職長の認定条件は、大成ロテック安全衛生環境協力会正会員企業に5年以上

上勤務し、実務経験10年以上で大成ロテックが定めた教育を修了した職長としている。あわせて、災害防止活動、職長会活動、職場環境改善などへの積極的な協力や、工事実績、作業指揮能力など総合的な資質も求められる。

選考は、各事業所が業務や工事管理、安全管理などを評価するほか、実績や貢献度により上級ランクの「スーパーマイスター」認定の導入も視野に

入れている。

報奨金は、モチベーション向上を目的に、協力会の総会や安全大会などで大成ロテックから認定職長へ直接支給される。金額は年間就労日数に応じて加算され、50日以上100日未満は5万円、100日以上150日未満は10万円、150日以上200日未

満は15万円、200日以上は20万円となっている。

同社では、マイスター職長制度とあわせて、職長への教育制度の運用も始める。職長の技能向上や次の世代のマイスター育成などを目的に、4つのカリキュラムからなる年間教育に取り組む。対象者は約220人で11月から開始し、全支社で実施する予定だ。